

社会資本総合整備計画

事後評価書

計画の名称	災害に強い伊勢のまちをつくる下水道整備（防災・安全）（重点計画）														
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	伊勢市														
計画の目標	当地域に想定されている大規模地震や近年の異常気象への対策を実施し、災害に強い安全で安心な都市基盤を整備する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,411	A	2,390	B	0	C	21	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0.87	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R02末	R04末
1	総合地震対策計画に基づく耐震対策が必要な重要な幹線のうちマンホール浮上防止対策の実施により耐震性能を確保した割合を0%(H30)から35%(R04)に増加させる。 耐震対策が必要な重要な幹線のマンホールの耐震性能を確保した割合(%) 耐震対策が必要な重要な幹線のうちマンホール浮上防止対策実施済み箇所数(箇所)/耐震対策が必要な重要な幹線のうちマンホール浮上防止対策を実施すべき箇所数(箇所)			
		0%	12%	35%
2	総合地震対策計画に基づく地震時に揚水機能が確保された雨水ポンプ場が受け持つ排水区面積割合を52%(H30)から60%(R04)に増加させる。 耐震対策が実施された雨水ポンプ場を持つ排水区面積の割合(%) 耐震対策が実施された雨水ポンプ場を持つ排水区面積(ha)/雨水ポンプ場を持つ排水区面積(ha)			
		52%	60%	60%
3	長寿命化計画に基づく雨水ポンプ場の機器更新による機能確保率を2%(H30)から100%(R02)に増加させる。 長寿命化計画に基づく雨水ポンプ場の機器更新による機能確保率(%) 長寿命化対策を実施した施設数(資産)/長寿命化対策検討対象施設数(資産)			
		2%	100%	100%
4	総合地震対策計画に基づく下水道区域内における安全及び衛生的にトイレが利用できる避難生活施設を0%(R01)から100%(R04)に増加させる。 総合地震対策計画に基づくマンホールトイレシステムの整備実施率(%) 総合地震対策計画に基づくマンホールトイレシステムを整備した施設数(箇所)/総合地震対策計画に基づくマンホールトイレシステムを実施すべき施設数(箇所)			
		0%	33%	100%
5	松尻2号雨水幹線排水路の整備により周辺の想定浸水面積を39.7ha(R02)から31.4ha(R10目標)へ減少させる。(10年確率降雨) 10年確率降雨に対する想定浸水面積(ha)			
		40ha	40ha	40ha

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	管渠（ 污水）	改築	マンホール浮上防止対策 （地震対策）（1-A1-1）	マンホール浮上防止 113箇所	伊勢市	■	■	■	■	■	74		策定済
	A07-002	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	終末処 理場	改築	五十鈴川中村浄化センタ ー耐震対策（地震対策） （1-A1-2）	処理場（管理棟および消毒施 設） 1箇所	伊勢市	■	■	■			43		策定済
	A07-003	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	ポンプ 場	改築	茶屋ポンプ場耐震対策（ 地震対策）（1-A1-3）	ポンプ場 1箇所	伊勢市	■	■				94		策定済
	A07-004	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ場長寿命化対 策（1-A1-4）	ポンプ場 4箇所	伊勢市	■	■				626		策定済
	A07-005	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	管渠（ 污水）	改築	マンホールトイレシステ ム整備	マンホールトイレシステム 6箇所	伊勢市		■	■	■	■	189		策定済
	A07-006	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	－	－	効率的な事業実施のため の計画策定	計画策定 1式	伊勢市	■	■				52		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	管渠（ 雨水）	新設	松尻第2排水区(浸水対策)	松尻第2排水区雨水幹線排水 路 L=1,213m	伊勢市			■	■	■	95		－
	A07-008	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	ポンプ 場	新設	黒瀬ポンプ場(浸水対策)	ポンプ能力増強 5.4m3／s	伊勢市			■	■	■	360		－
	A07-009	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	ポンプ 場	改築	黒瀬ポンプ場ほか耐震対 策(地震対策)	ポンプ場 2箇所	伊勢市			■	■	■	200		策定済
	A07-010	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	管渠（ 汚水）	改築	マンホール浮上防止対策(地震対策)	マンホール浮上防止対策実施 設計 135箇所	伊勢市			■			13		策定済
	A07-011	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ場更新(ストマ ネ計画)	雨水ポンプ場 5箇所	伊勢市			■	■	■	494		策定済
	A07-012	下水道	一般	伊勢市	直接	伊勢市	管渠（ 雨水）	改築	松尻1号雨水幹線更新(ス トマネ計画)	雨水幹線 L=104m	伊勢市					■	150		策定済
											小計						2,390		

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						2,390			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	伊勢市	間接	伊勢市	－	－	災害用マンホールトイレ 上部施設等整備	災害用マンホールトイレ上部 施設等 6箇所	伊勢市		■	■	■	■	21		策定済
		マンホールトイレシステムと一体的に実施することにより利便性の向上を図る。																	
											小計						21		
											合計						21		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
伊勢市上下水道事業審議会により評価を実施	令和6年12月
	公表の方法
	ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	想定されている大規模地震や異常気象への対策を下記のとおり実施したことによって、災害に強い安全で安心な都市基盤を整備することができた。 ・地震対策として、処理場管理棟の耐震化を完了した。また、マンホール浮上防止対策を計画的に進めた。 ・浸水対策として、松尻第2排水区の雨水幹線排水路及び黒瀬ポンプ場のポンプ能力増強に着手した。 ・長寿命化として、計画に基づき老朽化した施設の改築更新を完了した。 ・施設更新として、ストックマネジメント計画を策定し、計画的な施設更新を進めた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし
○特記事項（今後の方針等）	
・地震対策として、今後もマンホール浮上防止対策及び雨水ポンプ場の耐震対策を継続し進めていく。 ・浸水対策として、松尻第2排水区における雨水幹線排水路の整備及び黒瀬ポンプ場のポンプ能力増強を継続し進めていく。 ・ストックマネジメント計画に基づいた雨水ポンプ場の各機器更新を継続し進めていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	耐震対策が必要な重要な幹線のマンホールの耐震性能を確保した割合		
	最 終 目標値	35%	計画を前倒して下水道工事（マンホール浮上防止対策）実施したことにより、実績値が目標値を大幅に上回った。
	最 終 実績値	68%	
2	耐震対策が実施された雨水ポンプ場を持つ排水区面積の割合		
	最 終 目標値	60%	計画通り下水道工事（雨水ポンプ場の耐震対策）を実施し、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	60%	
3	長寿命化計画に基づく雨水ポンプ場の機器更新による機能確保率		
	最 終 目標値	100%	計画通り下水道工事（雨水ポンプの機器更新）を実施し、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	100%	
4	総合地震対策計画に基づくマンホールトイレシステムの整備実施率		
	最 終 目標値	100%	計画通り下水道工事（マンホールトイレ）を実施し、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	100%	
5	10年確率降雨に対する想定浸水面積		
	最 終 目標値	40ha	計画通り測量設計業務を実施し、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	40ha	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6	事業計画に基づく雨水排除能力の整備率		
	最 終 目標値	70%	計画通り下水道工事（雨水ポンプ場ポンプ増設）に着手し、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	70%	
7	総合地震対策計画に基づく処理場の耐震対策実施率		
	最 終 目標値	100%	計画通り下水道工事（処理場の耐震対策）を実施し、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	100%	
8	総合地震対策計画（第2期）に基づくマンホール浮上防止対策検討実施率		
	最 終 目標値	100%	計画通り測量設計業務を実施し、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	100%	
9	ストックマネジメント計画に基づくポンプ場の機器更新による機能確保率		
	最 終 目標値	40%	計画通り下水道工事（ポンプ場の機器更新）を実施し、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	40%	
10	ストックマネジメント計画に基づく雨水管路の更新による機能確保率		
	最 終 目標値	20%	計画通り下水道工事（雨水管路更新）を実施し、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	60%	